

2025年 2月14日

玉島信用金庫

「ソーシャル企業認証制度（S 認証）」 “世のため人のため”に取り組む企業が認証されました（11 月分）

玉島信用金庫は、2024 年 4 月に連携協定を締結した一般社団法人ソーシャル企業認証機構が評価・認証している「ソーシャル企業認証制度（S 認証）」において、“世のため人のため”に取り組む企業の認証取得をサポートしております。

このたび、同機構において、当金庫取引先である 4 社が認証されたことをお知らせいたします。認証を受けた企業は以下のとおりです。また、認証を取得した企業を訪問し、認証状を授与いたしました。

なお、認証企業数は、2024 年 12 月末時点の累計で当金庫取引先では 12 社、機構全体では 1,285 社となりました。

【認証企業】



株式会社豊島屋



なんば農園



倉敷花桜ハム 株式会社薫製倶楽部



株式会社アレックスソーラージャパン

※敬称略、申請順



株式会社豊島屋さまは、ソースや醤油をはじめとする各種調味料の製造および販売を手掛けられています。同社では、事業を営んでいる倉敷市玉島地区の活性化を目指し、老舗和菓子店である菓子処ひらいさまと「玉ノ浦醤油パイ」、食品製造を手掛ける花田食品株式会社さまとは「塩だれ味おかき」といった形で、地元企業とのコラボレーション商品の開発を積極的に行っています。最近では、瀬戸内海産の塩を活用した地域振興に取り組む下津井電鉄さま、鶏卵の生産や販売を手掛ける株式会社のだ初さまと共同で開発に取り組み、「塩田王の万能塩だれ」の販売を開始されました。

2023 年度における県庁所在地別のソースの使用量では、岡山市は全国 4 位に位置しており、岡山県にはソースの文化が根付いています。岡山県においてソースの文化を発展させることが可能であると考え、地域ならではのソースの使い方やソースの味をもっとたくさんの方々に知っていただく活動に取り組んでいきたいと考えられています。

なんば農園さまは、3 代にわたって続く農家として主に白桃やレモンの栽培を手掛けています。近年、地球温暖化の影響により白桃の成熟不良が多発し、収穫量の約半数が出荷に適さない規格外の桃となってしまう問題に直面されています。そのままでは出荷できない桃を加工し、「白桃甘酒」や「白桃ネクター」といった商品に生まれ変わらせることで、フードロスの削減に取り組まれています。2023 年度には、前述の加工品 2,000 本が完売となりました。

今年度は前年を上回る 3,000 本を準備されており、将来的には近隣の農園で発生した規格外の桃を買い取り加工品へと生まれ変わらせることで、地域全体のフードロス削減に貢献していきたいと考えられています。

倉敷花桜ハム 株式会社薫製倶楽部さまは、ソーセージやハムをはじめとする食肉加工品の製造および販売を手掛けられています。近年、日本人の食生活の変化により、卵や牛乳、肉類の摂取量が増加し、動物性たんぱく質や脂質の多い栄養価の高い食事を摂るようになったこと等が要因となり、食物アレルギーを抱える人の数は増加しています。同社では、代表者が薬剤師として調剤薬局へ勤務していた経験を活かし、食物アレルギーを持つ方でも安心して食べることができる食物アレルギーに係る特定原材料 8 品目を一切使用しない商品を製造されています。専用工場で製造されていることから、特定原材料 8 品目が混入する可能性はありません。

同社では、今後さらに積極的に営業活動を行い、同社の商品を取り扱っていただく店舗を増やすことで、より多くの方々に手に取っていただけるよう取り組んでいきたいと考えられています。

株式会社アレックスソーラージャパンさまは、太陽光発電装置の企画および販売を手掛けられています。同社では、一般的な太陽光発電だけでなく、PPA（第三者所有）事業の推進にも注力されています。直近期では、発電量に換算して 2MW/年の導入を手掛けられました。2MW/年の太陽光発電は、スギの木 7 万本が 1 年間に吸収できる二酸化炭素の量に匹敵し、二酸化炭素の排出量削減に大きく貢献されました。

太陽光発電については、環境に優しい発電方法ではあるものの、曇りや雨の日には発電量が落ちる等、条件によっては発電量が安定しないというデメリットがあります。近年、そのデメリットを補う方法として、蓄電池の開発が進んでいます。太陽光発電のメリットを最大限に享受できるよう、今後は太陽光発電だけでなく、蓄電池の普及にも取り組んでいきたいと考えられています。



今後、一般社団法人ソーシャル企業認証機構（<https://besocial.jp>※）および当金庫のホームページにおいて、認証企業各社をご紹介していく予定となっております。

※リンク先の情報につきましては、ご利用者自身の責任の上でご利用ください。

以 上

本件に関するお問い合わせ先（TEL 086-526-1355）

ソリューション部

中嶋